

## 【サウナ小屋使用上の注意】

サウナは高温となります。設置・使用・メンテナンス状況によっては、火災、やけど、一酸化炭素中毒等の重大事故につながるおそれがあります。

安全のため、必ず取扱説明書・施工要領および関連法令等に従い、適切に設置・ご使用ください。

### 1. 火災防止のための重要事項

- ストーブ周辺（本体・煙突・排気経路を含む）には、薪、タオル、衣類、紙等の可燃物を置かないでください。
- 使用中はその場を離れないでください。外出・就寝時など、人の目が届かない状況での使用は行わないでください。
- ストーブメーカーが定める離隔距離、遮熱、不燃下地、炉台等の仕様を厳守し、その上で消防等の指導に従ってください。
- 焦げ臭いにおい、発煙、異常な過熱、異音等の異常がある場合は、直ちに使用を中止してください。
- 煙突、排気経路、電気系統等は、使用状況に応じて定期的な点検および清掃を実施してください。

### 2. 設置・施工に関する注意（火災防止）

- 設置にあたっては、地域の火災予防条例、消防の指導等に適合していることをご確認ください。
- 電気工事、煙突工事等は、必要に応じて有資格者または専門業者により実施してください。
- 換気（給気・排気）が不十分な場合、不完全燃焼や一酸化炭素中毒の危険が高まります。施工要領に基づき、給気口・換気口を設置し適切な換気を確保してください。
- 製品の改造、指定外部材の使用、自己判断による施工変更は、安全性を損なうおそれがあるためお控えください。

### 3. 薪ストーブをご使用の場合（火災に関する注意）

- 燃料は乾燥した薪をご使用ください。ガソリン、灯油、溶剤等の使用、ならびに着火剤の不適切な使用は大変危険ですので行わないでください。
- 火の粉の飛散により周辺へ着火するおそれがあります。周辺状況（可燃物、風の強さ等）を確認し、必要な対策を講じてください。
- 煙突内に付着した煤が着火する「煙突火災」のおそれがあります。使用頻度に応じて煙突・排気経路の清掃を定期的に行ってください。

- 灰は完全に消火したことを確認のうえ、金属容器等に保管し、可燃物の近くに置かないでください。未消火の灰は出火原因となります。
  - 温度センサーをつける場合は説明書に記載の位置に適切に設置下さい。
- 

#### 4. 電気ストーブをご使用の場合（火災に関する注意）

- 電気工事は\*\*有資格者（電気工事士）\*\*により行い、機器仕様に適合した配線、ブレーカー容量、アース、漏電遮断器等を設けてください。
  - 焦げ臭いにおい、発煙、異音等の異常がある場合は、直ちに停止し、点検をご依頼ください。
- 

#### 5. ご使用前・ご使用中の確認事項

##### ご使用前（毎回）

- ストーブ周辺に可燃物がないこと
- 換気（給気・排気）が確保されていること
- ストーブ・煙突・配線に異常がないこと
- 消火器等の設置場所を確認していること

##### ご使用中

- 無監視状態にならないこと（外出・就寝中の使用をしないこと）
  - 異常（焦げ臭い、煙、過熱等）を認めた場合は直ちに停止すること
- 

#### 6. 異常時の対応

異常を認めた場合は、直ちに運転を停止してください（薪：給気の調整等／電気：電源遮断）。初期消火が可能な範囲では消火器等をご使用ください。危険がある場合は避難を最優先とし、速やかに 119 番通報してください。点検完了まで再使用しないでください。

---

#### 7. 免責・お願い

安全に関する最終的な基準は、各機器の取扱説明書・施工要領、ならびに消防の指導・関係法令・条例等に従ってください。

無資格施工、改造、不適切な設置・管理等に起因する事故については責任を負いかねます。